

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【公開番号】特開2008-104211(P2008-104211A)

【公開日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2008-017

【出願番号】特願2007-289923(P2007-289923)

【国際特許分類】

H 04 B 7/26 (2006.01)

H 04 B 1/707 (2006.01)

H 04 Q 7/22 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/26 102

H 04 J 13/00 D

H 04 B 7/26 107

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月1日(2008.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

送信電力制御単位で調整された送信電力にしたがって、通常モードではフレームを連続的に送信し、圧縮モードでは圧縮フレームを間欠的に送信する符号分割多元接続システムの移動局に適用される通信方法であって、

上り送信電力の増加または減少を指示する上り送信電力制御情報を基地局から受信する受信ステップと、

前記受信ステップで受信した前記上り送信電力制御情報にしたがって、通常モードでは1つの上り送信電力制御単位で、圧縮モードでは、前記通常モードの送信電力制御単位より大きい送信電力制御単位を少なくとも1つ含む複数の上り送信電力制御単位で、現送信電力を増加または減少させることにより、前記通常モードおよび前記圧縮モードにおける送信電力を調整する調整ステップと、

を含み、

前記通常モードでは、前記調整ステップで調整された送信電力にしたがって連続的にフレームを送信し、

前記圧縮モードでは、フレームに対してビット単位のインタリーブを行い、該インタリーブされたフレームを圧縮して圧縮フレームを生成し、該圧縮フレームを、さらに、前記通常モードにおけるフレームウインドウと同じフレームウインドウの先端を含む第1の部分と当該フレームウインドウの後端を含む第2の部分に分割し、前記調整ステップで調整された送信電力にしたがって間欠的に送信する、

ことを特徴とする通信方法。